

第2部

あだちがはら
鬼女伝説「安達原」～語り・箏・洋舞による～

奥州安達原の鬼女伝説を基にした能「安達原」を題材に、邦楽とモダンバレエ、演劇を融合させた新作舞台。現代演劇で活躍する山谷典子の脚本と、時代の先端を行く邦楽家黒川真理の音楽、国内外で活躍する洋舞の可西晴香の演出・振付・主演で、業深き鬼女の伝説を蘇らせる。

(脚本) 山谷 典子
(作曲) 黒川 真理
(振付・演出) 可西 晴香
(舞台美術製作) 久郷 秀男
(衣裳) 並河万里子
(ダンスミストレス) 松井希代恵

【演奏】(二十五絃) 黒川 真理
(第一箏) 北川 聖子 安久雅結衣
(第二箏) 道木 雅宝 内山雅楽鈴
(十七絃) 大谷 祥子 宮腰 雅桜 奥野 雅理
(打物) 藤舎 呂鳳 福原鶴之助
(笛) 藤舎 推峰

【出演】(女・鬼女) 可西 晴香
(僧1) 谷井 美夫 (劇団文芸座)
(僧2) 角 光則 (劇団文芸座)
(死霊のダンス・糸の精) 松下 美規 片岸 香里 古井 晴香 横田ほの華 日下 萌
桂井 優依 緑川 雅月 (可西舞踊研究所)
(堅香子の精) 高塚ほまり 塚本 麗乃 竹林くるみ 横山美悠子 萩原 颯音
宮井 優花 田中 沙依 吉田あつ子 四十住雪乃 渡邊 真帆
春戸 愛珠 (可西舞踊研究所)

【語り】 稀音家義祐

【あらすじ】

旅の僧が人里離れた荒野に辿り着いたところで日が暮れてしまう。灯りがともる一軒のあばら家を見つけ宿を求めると、出てきたのは枯れかけた花のような不思議な魅力を持った老女だった。風の吹きすさぶ夜。女は客人のため山へ薪を取りに家を出るが、「決して寝所を覗くな」と念を押して出ていく。好奇心からついに寝所の扉を開けてしまった僧が目にしたものは……。

黒川 真理 (作曲・箏・二十五絃)

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。NHK邦楽オーディション合格。文化庁インターンシップ研修生として人間国宝・故藤井久仁師に師事。北日本新聞芸術選奨、とやま賞、全国邦楽コンクール最優秀賞・文部科学大臣奨励賞、富山県部門功労(文化分野)表彰等、受賞多数。ビクターよりCD発売。NHK Eテレ「芸能花舞台」「にっぽんの芸能」等に出演。大伴家持生誕1300年記念企画展にて天皇皇后両陛下御前演奏。2004年より富山と東京で毎年リサイタルを開催。その他、海外公演多数。黒川邦楽学院院長。(公財)正派邦楽会大師範。(雅号・雅籟)



可西 晴香 (振付・演出/主演)

幼少より可西希代子に学び、庄司裕に師事。1995年可西舞踊研究所代表となる。全国舞踊コンクール1位、国内外での振付・演出多数。2009年ブラハポヘミアバレエ団等による「マッチ売りの少女」をブラハ国立エステート劇場にて日本人として初演出・振付。1988年あきた全国舞踊コンクールグランプリ、92年とやま賞、2003年県功労者表彰、11年(財)松山バレエ顕彰芸術賞、14年ブラハ芸大AMU章、18年石井漢・はるみ指導者大賞等、第36回江口隆哉賞等、受賞多数。現在、(一社)富山県芸術文化協会副会長、富山県洋舞協会会長、(一社)現代舞踊協会監事・北陸支部長。



藤舎 呂鳳 (打物)

囃子の流儀(藤舎流)の家元に幼少の頃より小鼓、大鼓、太鼓の真髓を伝授され、人間国宝「堅田喜三久」に研修し、世界最高水準の技術を伝承する。ヨーロッパを中心に囃子のパフォーマンスで世界各国の聴衆を魅了。歌舞伎や日本舞踊の古典演奏はもとより、数多くの異業種のアーティストとコラボ。絶対的な古典の型を柔軟にアレンジし、ダイナミックな演奏には定評がある。2016年に、ポニーキャニオンよりメジャーデビューした、竜馬四重奏の力強いリーダーを務める。また声優、司会などをこなすマルチパーフォーマーとして、あらゆるフィールドで活動する。



福原鶴之助 (打物)

福原流福鶴派家元代行二世福原鶴祐の次男として東京に生まれる。1986年祖母杵屋亀次の会にて小鼓で初舞台。1987年望月林清師の会に出演。1995年望月左武郎師、杵屋栄敏師に師事。2005年福原鶴之助襲名。邦楽演奏会、日本舞踊会、海外公演(アメリカ、メキシコ、スペイン、ドイツ、オーストラリア、韓国)などの公演にも参加。一般社団法人長唄協会会員、若獅子会会員。



藤舎 推峰 (笛)

1979年東京都生まれ。父は笛演奏家の中川善雄。藤舎秀隆、藤舎名生、そして中川善雄に師事。2004年藤舎推峰の名を許される。東京芸術大学大学院音楽研究科邦楽囃子専攻修了。在学中に浄観賞、同声会新人賞、アカンサス賞を受賞。国立劇場主催「長唄の会」やNHK「芸能花舞台」など演奏会、放送に多数出演。マリンバと笛による「運々」(2006)の作曲等、創作活動や西洋楽器とのコラボレーションも積極的に行う。藤舎流「真しほ会」、藤舎流若手の会「青講会」に参加。バイオリンと邦楽のユニット「竜馬四重奏」メンバー。



令和元年度
芸術鑑賞

嘆きの糸を紡ぎ
憂き世に生を織りなす

鬼女伝説

安達原

あだちがはら
～語り・箏・洋舞による～

第1部 奏～絃・竹・声～ 第2部 安達原～語り・箏・洋舞による～

令和2(2020)年2月2日(日)14時開演
富山県高岡文化ホール